



LEICA M10-R/LEICA M10-P
LEICA M10 MONOCHROM

ファームウェアアップデート

ファームウェア

カメラ名	ファームウェアバージョン
Leica M10-R	20.20.47.37
Leica M10-P	3.21.3.50
Leica M10 Monochrom	3.21.2.50

NEW:遠近補正

ファームウェアアップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
 - ・ メニュー項目**カメラファームウェア**の隣に、バージョンが表示されます。
- ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、ライカ カスタマーサイト (club.leica-camera.com)からご覧いただけます。

カメラのファームウェアをアップデートする

- ▶ 最新のファームウェアをダウンロードする。
- ▶ メモリーカードに保存する。
- ▶ メモリーカードをカメラに挿入する。
- ▶ カメラの電源を入れる。
- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
 - ▶ **カメラファームウェア**を選択する。
 - ・ このメニュー項目は挿入されているメモリーカードに新しいバージョンのファームウェアが保存されている場合のみに選択が可能です。
 - ・ アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
 - ▶ バージョン情報を確認する。
 - ▶ **アップデートを開始**を選択する。
 - ・ アップデートが自動的に開始します。
 - ・ 正常に完了すると、終了のメッセージが表示され自動的にカメラが再起動します。

メモ

- ・ アップデート中にカメラの電源を切らないでください。
- ・ バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。

遠近補正

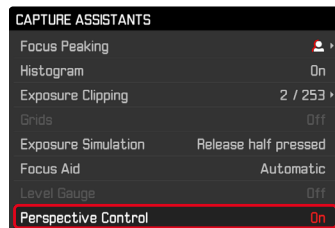
この機能をオンにすると、建築物のひずみなどをより自然に補正することができます。カメラが台形ひずみを自動的に認知し、ガイド線が表示されます。

この機能は撮影中のカメラ位置を内部センサーが自動認識し、使用レンズとカメラの傾斜角度に基づいて、構図と必要な補正を導き出します。被写体のラインは関係しません。そのため被写体内容に基づいた画像加工による自動遠近補正機能とは異なります。

機能は記録形式(JPGまたはDNG)により異なります。JPG画像では補正された画像のみが保存されます。DNG画像ではカメラが認識した情報はメタデータに記録されます。Adobe Photoshop Lightroom*またはAdobe Photoshop*を使用すると自動で補正*が実行されます。

初期設定: **Off**

- ▶ メインメニューで**キャプチャーアシスタント**を選択する。
- ▶ **遠近補正**を選択する。
- ▶ **On**または**Off**を選択する。



メモ

- 傾斜度が大きければ大きいほど必要な補正規模が大きくなります。その場合は自動で補正が出来ない、または部分的にしか行われない可能性があります。そのため傾斜度が大きい画像はDNG画像として保存し、後に画像加工プログラムにて補正を行うことをおすすめします。
- この機能を使うにはレンズの焦点距離がカメラに認証されている必要があります。6ビットコード付きライカMレンズを使用している際には自動で認証されます。それ以外のレンズを使用する際にはメニュー項目**(レンズ検出)**にてマニュアルで入力してください。
- **遠近補正**を使用中はヒストグラムは表示されません。

遠近補正機能ON



認識された被写体(ライブビューモード時)



補正後(再生モード時)



JPG画像

JPG画像では補正された画像のみが保存されます。枠外の内容は保存されません。

DNG画像

DNG画像では全ての内容が保存されます。遠近補正機能が認識した情報はメタデータに記録されます。Adobe Photoshop Lightroom®またはAdobe Photoshop®などのソフトウェアを使用して補正を実行します。カメラで再生する場合はプレビューとしてサムネイル画像が表示されます。オートレビューの際も同様です。

Adobe Photoshop Lightroom®またはAdobe Photoshop®で画像を開ける場合は補正前のオリジナル画像が表示されます。プリセットによっては、補正枠に応じて補正された画像を、プログラムを開いたときに直接表示することができます。

ADOBE LIGHTROOM*または ADOBE PHOTOSHOP*を 使用して遠近補正

Adobe Photoshop Lightroom*またはAdobe Photoshop*などのソフトウェアの機能を使用してDNG画像の遠近補正ができます。詳しくは以下のオンラインヘルプサイトをご覧ください。

ADOBE LIGHTROOM*:

<https://helpx.adobe.com/jp/lightroom-classic/help/guided-upright-perspective-correction.html>

ADOBE PHOTOSHOP*:

<https://helpx.adobe.com/jp/photoshop/using/perspective-warp.html>

記録された枠を表示させるには

カメラが認知した被写体の境界線を表示させるには「Upright」プルダウンメニューから「ガイド付き」を選択してください。Uprightによる補正を希望しない場合には「Upright」を「オフ」を選択してください。

自動補正されたバージョンを表示させるには

LightroomまたはPhotoshop Camera RAWで画像を開いた際に直接自動遠近補正の効果を見るには、RAW画像の環境設定をする必要があります。
<https://helpx.adobe.com/jp/photoshop/kb/acr-raw-defaults.html>

- ▶ 「Raw 初期設定」で「カメラ設定」を選択する。